

山形領に^ア立石寺といふ山寺あり。^ハこの開基にして、^ニ清閑の地なり。一見すべきよし、人々の勧むるによりて、尾花沢よりとつて返し、その間七里ばかりなり。日いまだ暮れず。麓の坊に宿借りおきて、山上の堂に登る。岩に^ウ巖を重ねて山とし、^エ松柏年旧り、土石老いて苔滑らかに、岩上の院々扉を閉ぢて物の音聞こえず。岸を巡り岩を這ひて仏閣を拝し、^オ佳景寂寥として心澄みゆくのみおぼゆ。

閑かさや岩にしみ入る蝉の声

- ① 傍線ア～オの読み方をひらがなの現代仮名遣いで書きなさい。
- ② 「佳景寂寥」の意味を答えよ。
- ③ 次を傍線部に注意して和訳しなさい。
一見すべきよし、人々の勧むるによつて

④「」に当てはまる人物名を漢字で答えよ。

⑤次の傍線部「」の説明で正しいものをそれぞれ選べ。

(1)「」の開基にして

(2)「」に清閑の地なり

(3)「」人々の勧むるによつて

(4)「」ふもとの坊に

(5)「」昔なめらかに、

ア 副詞の一部 イ 断定の助動詞 ウ 形容動詞の活用語尾

エ 完了の助動詞 オ 助詞

⑥「」に「巖を重ねて出」とあるが、どのような様子か説明せよ。

⑦ 俳句の訳をせよ。

① ア：りゆうしやくじ イ：せいかん ウ：いわお エ：じょうはく
オ：かけいじやくまく

② 素晴らしい景色が静まりかえっている

③ 一目見たほうがよい、と人々が勧めるので

④ 慈覚大師

⑤ (1)イ (2)ア (3)オ (4)オ (5)ウ

⑥ 大きさの異なる岩がたくさん重なって積みあがっている様子。

⑦ なんと静かな場所か。絶え間なく響く蝉の鳴き声も、まるで石にこし

みこんでいくように、静かさがだけが強調されるようだ。